

高齢者インフルエンザ（季節性）予防接種を受ける方へ

☆☆☆ 予防接種を受ける前に必ず読んで下さい ☆☆☆

予防接種は、受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月とされています。より効果的に有効性を高めるためには、インフルエンザが流行する前に接種を受けることをお勧めします。

<予防接種の必要性>

インフルエンザは、高齢者が感染すると持病を悪化させたり合併症を引き起こしやすくさせたり、重症化する危険性が高い感染症です。感染予防と重症化防止を目的に予防接種を受けましょう。

<接種を受ける時の注意>

- ①体調をよく観察して、ふだんと変わったところがないか確認してください。
- ②予診票は医師への大切な情報です。正確に記入してください。
- ③接種時には、必ず健康保険証を持参してください。（住所・年齢の確認のため）
- ④接種後は、医療機関で接種済証明書の交付を受けてください。
（健康手帳をお持ちの方は健康手帳に証明してもらいましょう。）

<予防接種が受けられない人>

- ①発熱のある人（37.5℃を越える人）。
- ②重篤な急性疾患にかかっている人。
- ③過去にインフルエンザワクチン接種や卵等で、アナフィラキシーショックを起こした人。
- ④過去にインフルエンザの予防接種後2日以内に発熱のみられた人、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人。
- ⑤その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人。

<予防接種前、医師に相談の必要な人>

- ①心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害のある人。
- ②ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある人。

<インフルエンザ予防接種の副反応>

- ①過敏症；まれに接種直後から数日中に、発疹、じんましん、紅斑、かゆみなどが出ます。
- ②全身症状；発熱、悪寒、頭痛、倦怠感などがでますが、通常2～3日中に消失します。
- ③局所症状；発赤、腫脹、疼痛などがでますが、通常2～3日中に消失します。
- ④非常にまれにですが、接種後30分以内にショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがあります。

<予防接種を受けた後の注意>

- ①インフルエンザワクチン接種後30分間は、健康状態の変化に注意し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ②インフルエンザワクチン接種後24時間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種後1時間経過すれば入浴は差し支えありません。
- ④接種当日は、接種部位を清潔に保ち、接種後24時間は激しい運動や大量の飲酒はさけましょう。
- ⑤接種後、接種部位の異常反応や体調変化を感じた場合は、速やかに診察を受けたうえで、住所地の問い合わせ先に連絡して下さい。

【問い合わせ先】	田村市役所保健課	TEL	0247-81-2271
	三春町保健福祉課	TEL	0247-62-5110
	小野町健康福祉課	TEL	0247-72-6934